

NPO法人コラボ主催のシンポジウム

無党派から市民派へ

- 主催：特定非営利活動法人（NPO法人）コラボ
- 日時：5月24日（土曜日）午後1時半～4時（午後1時開場）
- 場所：豊島区民センター6階文化ホール（定員279人、当日会場にて先着順に受付）
※JR池袋駅東口から徒歩5分、豊島公会堂のとなり
- 参加費：一般1000円・賛助会員500円

【第1部＝特別講演】 逢坂誠二・北海道ニセコ町長 演題「自治における政党の課題——私はなぜ立候補を思いとどまったか」

「私は無党派の首長や議員には限界があると思っています。住民参加や情報公開、行政評価などでそれなりの実績をあげてきたが、それらは地域の中だけで対応できる課題です。でも国政に引き上げて議論しなければならない課題は山のようにある。それができるのは政党です。今ほど政党のパワーが必要な時はない」

（2003年4月18日付朝日新聞のインタビューより）

【第2部＝パネル・ディスカッション】「いま、政治を変えるのはだれだ」

- ・無党派・脱政党の政治家ばかりでいいのか——
- ・既存政党は再生するか、地域政党にできることは——
- ・脱政党型政治グループは政治パワーの結集軸になれるか——
- ・市民派政治家が手を組む政党パワーとは——
- ・そのとき有権者はどう動く——

<コーディネーター>

星 浩 氏（朝日新聞編集委員、テレビ朝日「サンデープロジェクト」コメンテーター）

<パネリスト>（五十音順）

今井 一 氏（盟約5企画・運営委員、ジャーナリスト）
内田 秀子 氏（大田区議、東京・生活者ネットワーク）
奥 健一郎 氏（日本フロンティアの会事務局長、松下政経塾OB）
黒岩 秩子 氏（WINWIN運営委員、前参議院議員）
鈴木 達郎 氏（川崎市議選自民党候補者、一新塾OB）

このシンポジウムでは、政治・行政と住民（有権者）との新しい関係を
選ぶ側、選ばれた側双方の視点から考えます

NPO法人コラボは2003年4月に誕生した埼玉県の認証法人です。

コラボの名前は、「協働」を意味する英語コラボレーション
(collaboration) に由来します。

コラボは住民と役所・議会との橋渡し役となり、
住民参加の行政・政治＝住民自治の実現をめざします。

〒343-0011 埼玉県越谷市大字増林5797番地

サイト <http://www.npo-collabo.org> ※定款・設立趣旨など公開中

問い合わせ先 info@npo-collabo.org 電話 049-271-2078（代表理事 樺嶋秀吉）